

7月グループ山行(県連フリー登山バス)

鳥海山(2236m)・月山(1984m)・蔵王連峰(1841m)

山形県・宮城県

7月25日～30日 参加者：4人 坂井(CL)、滝(SL)、安永、三村

7月27日(金) [曇り時々晴れ]

鳥海山：大平山荘 5:00→吹浦口登山口 5:20→7:38 御浜小屋 7:55→10:25 大物忌神社 11:00

→11:30 鳥海山(新山)→12:05 大物忌神社→14:00 御浜小屋 14:20→15:40 錐立登山口

登山口からブナ林の中の少し急な道を登ると草原になり、やがて鳥海湖の近く御浜小屋へ着く。広いお花畠の気持ちよい道を進むと外輪山の縁へ出て、梯子もある急斜面を下ると千蛇谷の雪渓に出会う。谷に沿って少し行くと最後の急登となる。頂上の大物忌神社で昼を済ませ、新山へ向かう。大きな岩のごろごろをよじるよう進むと鳥海山の最高点だ。独立峰からの大展望も遠方は霞んでいた。下山が遅れそうで神社からは上ってきた道を急いで御浜小屋まで下りた。予定の外輪山を下る道は花と展望の快適な道だったよう残念であった。



上りにはガスで隠れていた鳥海湖がまぶしいほどにきれいに見える。花と池と雪渓、すべて揃った素敵なかつら山であった。 (滝 史郎)

7月28日(土) [曇り]

月山：8合目登山口 9:10→10:42 佛生池小屋 10:55→12:00 月山(昼食) 12:50→13:50 姥ヶ岳分岐→15:45 湯殿山神社

8合目の駐車場は、霧がかかり風が吹き肌寒い。信仰の山ですね、白装束やこんごう杖の人でごった返していた。上りはなだらかな石段が続く、人、人で挨拶と離合が大変。ここも花が多く楽しませてくれる。山頂は霧で展望が悪く、人でごった返していた。山頂神社をスルーして少し降りて昼食とする。姥沢ルートにリフトがあるので、急登を喘ぎながらたくさん的人が登ってくる。姥ヶ岳分岐を過ぎると人は全く居なくなる。目の前の木が揺すられている、猪かな、と言っている間に大きな熊のお尻が見えた。近いので慌てて音を立て追い払う。雪渓の溶けた端に可愛い水芭蕉が慌てた様に咲いていた。濡れて滑りやすいガレ場と急坂の段差の高い階段、長い鉄梯子が3箇所あった。鍛冶小屋から3時間、含満の滝で女性たちが滝に打たれ修行をしているのを眼下に見ながら湯殿神社へと降りた。 (安永 秀子)



7月29日(日) [曇りのち晴]

蔵王連峰：蔵王ロープウェイ山麓駅 8:30→8:45 地蔵山頂駅 8:55→9:55 熊野岳→10:50 刈田岳→11:20 大黒天

午前8時30分のロープウェイで蔵王地蔵山頂駅まで。ここから登山開始。地蔵岳を登り、熊野岳をめざして歩く。今日もガスがかかっていて、眺望は見れない。有名な御釜も見れないかも知れないと思いながら、下山時間を気にしながらひたすら歩く。熊野岳の頂上で水分休憩をとり熊野神社を出た頃からガスもなくなり青空がところどころでてきた。ガスもなくなり念願の御釜をしっかりと見ることができた。グリーン色の湖は何とも神秘的であった。御釜を左目で追いかながら馬の背を気持ち良く歩くことができた。もう一つのお土産は大黒天の駐車場までの整備された山道に「こまくさ」が清楚に咲いていたことである。3日目の3時間弱の山歩きは美しい日本の自然を感じたことにつきる。 (坂井エイコ)